

トップメッセージ

総合メディアグループとして 次の「進化」に向けてチャレンジしてまいります

これからも「まっすぐ、ずっと。」

本年4月、グループの基幹放送事業会社であるテレビ東京が開局50周年を迎えました。

技術革新やメディアの多様化が進む中であって、我々はこれからも、テレビ東京の50周年キャンペーンテーマである「まっすぐ、ずっと。」の姿勢を共有し、総合メディアグループとして次の「進化」に向けてチャレンジしてまいります。

変化をチャンスにするために

2016年秋を目標に、「地上波放送とBS放送の放送マスター設備の一体更新」と「社屋の移転」を同時に行う一大プロジェクトに取り組んでいます。これは、テレビ東京グループにとって将来の礎となる重要な節目であります。

この節目を次の飛躍につなげるために、3つの基本方針からなる中期経営計画を推進しています。

<中期経営計画の3つの基本方針>

- ・「番組コンテンツ力の強化」
- ・「ネット関連事業を中心とする「通信分野」の開拓」
- ・「アジア市場を重視した国際戦略」

「番組コンテンツ力の強化」では、独自性にこだわった番組編成が視聴率の底上げに結び付き、2014年度上半期のテレビ東京の視聴率は引き続き上昇基調を維持しました。BSジャパンも2015年4月からの機械式接触率調査の導入に向けて、日経グループやテレ

ビ東京との連携強化を進めるほか、オリジナル番組の強化に取り組んでおり、それが業績の向上に結び付いています。

「ネット関連事業を中心とする「通信分野」の開拓」では、テレビ東京の経済報道番組をスマートフォンなどで視聴できる「テレビ東京ビジネスオンデマンド」が順調にユーザー数を増やしています。また、テレビ東京グループのデジタル戦略を一元的に担うテレビ東京コミュニケーションズは、テレビ東京の10月新番組である生放送バラエティで視聴者との双方向サービスを構築したほか、5月にスタートした広告型無料動画配信サービス「テレ東プレイ」で番組の未公開映像を配信するなどオリジナル企画にも取り組んでいます。

「アジア市場を重視した国際戦略」では、他社と共同でアニメ『NARUTO』のゲーム配信を中国で始めたほか、他の作品もモバイルゲームを製作する契約をアジア各国で締結しております。また、『孤独のグルメ』などのドラマもアジア各国に向けた販売を展開しております。

昨今、放送局に求められるものは大きく変わりつつありますが、映像コンテンツはますます生活に欠かせないものになっています。テレビ東京グループは、これからも創造性豊かな番組・コンテンツをお届けすることで、株主や視聴者の皆様の信頼と期待に応えてまいります。今後もより一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



株式会社テレビ東京ホールディングス
代表取締役社長

島田昌幸

Masayuki Shimada